

令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》

読書活動への扉を開く！

No 62

桑村小学校令和5年10月27日 文責 松永

お気に入りの一節を

みなさんには、「お気に入りの一節」はありますか？

私は6年生の授業で取り組む「フリードルとテレジンの小さな画家たち」という話を学習し、絵から感じた事や文章を読んで心に残った文について共有する学習が好きです。理由は、子供たちそれぞれに違った感性があって、たくさんの発見があるからです。さらにその単元が進むと最後に「お気に入りの一節」を紹介する場面があります。意外な一節を児童が書いていると、その子の感性に触れることができ大変興味深い学習です。読書に親しむということは、本の世界を楽しむだけでなく、本に書かれている言葉を楽しむことでもあると思います。日本語の清らかさ、重さ、素晴らしさなどを改めて感じることも読書の素晴らしさだと思っています。

子供たちが今取り組んでいる読書記録にある「お気に入りの一節」は、これからの生活で生きるのではないかと実感しています。本の中で感銘を受けた言葉、背中を押してくれた言葉などを記録して、ふとした時に読み返すことで元気をもらったり、ヒントをもらったりすることがあります。言葉を知ること、表現は豊かになり、人生も豊かになると思います。

私自身まだまだ知らない言葉がたくさんあります。これからも読書をしながらお気に入りの一節を見つけて、自分の心の栄養にしていきたいと思っています。

ぜひ、みなさんも読書を楽しみながらお気に入りの一節を見つけてみてください。



～My best selection～

題名：今日は、お日柄もよく

作者：原田マハ

お気に入りの一節：3時間後の君、涙とまっている。

24時間後の君、涙は乾いている。

2日後の君、顔を上げている。

3日後の君、歩き出している。

困難に向かい合ったとき、「もうだめだ」と思った時、想像してみるといい。

★元気がなくなったとき、もうダメかもと思った時、いつもこの言葉を思い出すと、「何とかなるかも！」と力がわいてきます。ぜひ、みなさんも読んでみてください。

切り取り線

「読書活動の扉を開く」(10月27日62号)を読んだ感想

()年()